

Ⅱ 2012年度 活動報告

1. 目的

子育て中の人々が、子育ての今を見つめ、自身の力を活かせるようになるとともに、様々な人々が様々な立場から関わりをもつことで、「いばらきの子育て・子育て環境」の充実を図る。

2. 活動の概要

みんなで考える「いばらき教育プラン」の策定を念頭に置き、現在子育て中の人々や子育てに関わる人々の生の声を集めた。

具体的には、保育園や母親サークルを訪れてヒアリングを行った他、語り合いの場としての「子育てどう (Do) ?」トークカフェを、つくば市と水戸市において計3回開催するなどした。

また、本報告書を行政やヒアリング協力者等にお渡しし、子育て課題を共有するとともに、簡易報告書としてリーフレットを印刷し、つながりのできた団体から個人に配布することで、本プロジェクトの周知とネットワーク拡大に役立て、次年度以降の活動につなげたいと考える。

3. ヒアリングの主対象

未就学児の保護者とその子育てに関わりのある個人・機関

4. ヒアリング実施までの経緯

当初、本事業は、子育て中の保護者や様々な立場から教育に携わっている人々、さらには子ども達自身の声を集め、これをもとに市民の手による「いばらき教育プラン」を作成することを目標としていた。たたき台としての案を提示し、インターネット等を介して広く意見を求めるなどし、「市民版いばらき教育プラン」としてまとめることを考えていた。

最終目標がそこにあることに変わりはない。現代社会が抱える諸問題の根底には、1つとして「人任せになりがちであること」があげられると、私達は考えている。子ども達の教育についても、私達はより主体的に関わりをもつ必要がある。「いばらき教育プラン」の策定にも、より多くの人々の声を反映させることができたなら、すなわち、市民意識の向上にもつながるものと考ええる。

しかしアドバイザーのお二人から指摘を受けたのは、「原案を提示して意見を求める」という手法が、すでに上から目線になってはいないかということであった。「市民の手による」と言いながら、限られた期間で形を成そうとしたことが、錯誤の原因としてあったと思う。

そこで私達は、改めて声を集めることから活動を開始することとしたが、そこでもまた、様々な議論があった。同じ市町村内でも、中心部と周辺部では環境が異なる。同じ地域であっても、もともとそこで育った方が子育てをする場合と、転入された方が子育てをする場合とでは、ニーズが違って来る。より広く声を集めるべきか、それとも深く話を聞くべきかと議論した結果、私達は地域に根を下ろしたNPO団体として、対象を絞って一人ひとりの声にじっくりと耳を傾けることを選択した。

5. 活動経過

2012年10月	・ 第1回運営委員会開催（目的確認・活動計画検討）
2012年11月	・ 第2回運営委員会開催（活動計画検討・ヒアリング手法検討）
2013年 1月	・ 第3回運営委員会開催（ヒアリング事項共有、専用Webサイト検討）
	・ 専用Webサイト立ち上げ、広報開始
2013年 2月	・ 第4回運営委員会開催（ヒアリング事項共有、専用Webサイト検討）
2013年 3月	・ 第5回運営委員会開催（座談会内容検討、ヒアリング事項共有）
	・ 座談会広報開始
	・ ヒアリング協力依頼チラシ配布
2013年 5月	・ 第6回運営委員会開催（座談会内容検討、報告書内容検討）
	・ 座談会（「子育てどう（Do）？」トークカフェ）つくば会場第1回の開催
2013年 6月	・ 座談会（「子育てどう（Do）？」トークカフェ）つくば会場第2回の開催
2013年 7月	・ 座談会（「子育てどう（Do）？」トークカフェ）水戸会場の開催
	・ 第7回運営委員会開催 （報告書・リーフレットの内容検討、今後のプロジェクトの展望）
2013年 8月	・ 第8回運営委員会開催 （報告書・リーフレットの内容校正、今後のプロジェクトの展望）
	・ 報告書完成、送付
	・ 報告リーフレットの配布

※ ヒアリングは随時行っていた。